学校番号	３１２

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎「自立・共生・創造」（東京出版）						
副教材等	スーパーライブビュー　家庭科（東京出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭基礎の学習は、単なる聞き取り学習や暗記学習だけではなく、各自が課題に従って調べ学習を行い、実験・実習を通して、問題解決を図るものである。

2　学習の到達目標

１．人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会とのかかわりについて理解する。
２．生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○人とのかかわり、衣食住などの生活、経済的な観点において、自立した生活に向けて、意欲的に学習にとりくもうとしている。 ○人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会とのかかわり、衣食住について関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身につけようとする。	○自分や家族・家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。	○自分や家族・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。	○自分や家族・家庭，地域社会の役割を理解し，生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画・制作計画 実習記録・レポート 発表・自己評価　など	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画・製作計画 実習記録・レポート 定期考査・発表 自己評価　など	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品・観察記録 レポート発表 定期考査・自己評価 など	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画・製作計画 実習記録・レポート 定期考査・発表 自己評価　など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ○共に生きる家族 ・家族って何だろう？ ・ライフサイクルと家族	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 b:・人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 ・図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 c:自分自身について考えるワークシートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 d:自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題をみつけることができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	自分らしい生き方と家族	○家族に関する法律 ○私たちの生活を支える労働時間と生活時間	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:・家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。 ・労働の意義や役割、労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち、現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。 b: 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめることができる。 c:家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 d:現在の生活時間の状況をふまえ、生活時間と労働との関係について理解できる。	授業観察 ワークシート 定期考査

6月	子どもとかかわる	○発達のすばらしさ ○すこやかに育つ環境	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c:折り紙や簡単おもちゃ作りの技術を身につける。 d:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
7月	衣生活をつくる	○基礎縫い	○	○	○	○	a:基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的にとりくもうとする。 b:現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 c:材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。 d:習得した技術を、衣服の修理を行うとき、正しく活用する知識を身につける。	授業観察 製作物 製作計画 ワークシート
		1学期期末考査						定期考査
夏休み		○ホームプロジェクト ・家事体験						
8月		○ホームプロジェクト ・発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトについて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見出し、その解決を目指して、科学的に探求し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトを実践することができる。 d:ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身につけている。	レポート 発表 自己評価 相互評価

9月	消費者として自立する	○消費行動を考える ○経済的に自立する	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。 b:消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 c:短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 d:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
10月 11月 12月	食生活をつくる	○私たちの食生活 ○栄養と食品のかかわり ○食品の選び方と安全 ○食事の計画と調理 ○これからの食生活を考える。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:・自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ・調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。 b:・自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。 ・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算など、実際の生活に取り入れることができる。 ・調理実習において、作業の流れを考え、計画的にとりくむことができる。 c:・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 d:・食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 定期考査

							・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。	
1月 2月 3月	住生活をつくる	○人と住まいのかかわり ○住まいを設計する ○健康的な住まい環境 ○安全な住まい環境 ○これからの住まいを考える	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。 b:安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 c:住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 d:安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できる。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。